



認知症…ひとりで悩んでいませんか？

第3号

平成28年9月1日発行

中丹西

# オレンジロードつなげ隊だより

【事務局】 京都府中丹西保健所 企画調整室 中丹西地域包括ケア推進ネット  
〒620-0055 福知山市篠尾新町1丁目91 TEL 0773-22-5744

こんにちは！ **オレンジロードつなげ隊**です！

認知症の人を理解し、支援していくためにはどうすれば良いのでしょうか？  
高齢化社会を迎えた今、誰もが認知症にかかわる時代に入っています。  
優しさと思いやりを持って、地域で協力し、見守ることや、認知症への理解を  
広めることにより、認知症になっても安心して生活できるまちづくりにつ  
なげていきましょう！



## 隊員からのメッセージ

**小原 彰紀さん**

所属：五十鈴会きらら



帰る場所がわからない、帰宅する方法がわからない…。

認知症状による行方不明者が、平成27年の1年間で過去最高の12,208名と年々増加していることが警察庁より発表されました。そんな中、先日福岡県飯塚市のバスターミナルで、迷子になられた高齢者に高校生が声をかけ、認知症高齢者の保護に繋がったという記事を目にしました。

認知症かどうかを見ただ目で判断することは難しいことですが、気になる高齢者を見かけたら、「こんにちは。」と優しい笑顔で話しかけることを大切にしてみてください。その一言が地域コミュニティーを強くし、一人一人が安心できる居場所づくりに繋がっていきますから。

### オレンジロードつなげ隊とは

認知症を正しく理解してもらうための普及啓発を企画・実践し、認知症のことをたくさんの人に知ってもらうため現在40名の隊員で活動しているグループです。

**小林 早苗さん**

所属：社会福祉法人福知山市社会福祉協議会

最近、テレビでは認知症や介護に関する番組がよく放送されるようになりました。認知症予防や介護による離職、介護にまつわる新しいサービスなど、様々な内容が取り上げられています。

このように、認知症や介護に関する関心は、ますます大きくなっていくのだと感じています。

オレンジロードつなげ隊として、認知症の方を介護されている家族だけの問題ではなく、地域社会のみんなで見守っていくことができるような社会になればいいなと思いながら活動に参加させていただいています。

**羽上田 由美子さん**

所属：グリーンピア夜久野

夜久野介護センターでケアマネジャーをしています。ご家族様・ご利用者様を支援する中で、皆様に励まされながら業務をさせて頂いています。

高齢化社会となり認知症は誰もがなりうる病気になっていますが、認知症を正しく理解されている人は少なく、偏見を持った目で見たり隠そうとされるご家族様もおられます。

認知症を正しく理解し正しい知識を持って接してほしいと思います。

日頃から地域との付き合いを大切にし、声かけ見守りをしながら認知症になっても地域社会で支え合い、住み慣れた地域で安心して生活が送れるように取り組んでいきたいと思っています。

シリーズ

～相談窓口を紹介します～

### No.2 六人部・三和地域包括支援センター

六人部・三和地域包括支援センターは福知山市の委託を受けた、高齢者の方の総合相談窓口です。

市内に6か所設置のセンターの一つで、六人部地域と三和町地域を担当しています。

介護や福祉などのご相談をお受けしたり、認知症サポーター養成講座の依頼もお受けしています。

玄関 外観



# こんな啓発活動をしています!

清和会 特養みわの里 浦井 明美さん

当施設では、地域貢献委員会により各事業所に声をかけ、ニーズに合わせた出張を計画し、今回3月18日に認知症カフェ“みわの里カフェ”を開催。

内容は

- ①わかりやすい認知症の話。
- ②見て理解しやすい寸劇。
- ③お話タイムではコミュニケーションと悩みの聞き取りで次の課題に。
- ④認知症体操で心身のリラックス。

拮抗体操をもとに皆さんと一緒に。

最後は童謡で楽しく終了する事ができました。終了後には、次のステップアップした会を待っているとの声もあり、大成功の手応え!! 地域性に合わせた内容にし、緊張感もありましたが、馴染みやすくあたたかな雰囲気となった事で、次への意欲となりました。

## みわの里 カフェ!



平成28年度の活動を紹介します

## 認知症啓発用DVD制作中!

お楽しみに!!

中丹西オレンジロードつなげ隊、高校生、関係機関（福知山市・地域包括支援センター）等と協働し認知症高齢者への接し方や相談窓口等を寸劇形式でわかりやすく紹介する内容です。

力を合わせてビデオ撮影に熱心に取り組んでいます。



## 認知症豆知識

### アルツハイマー型認知症って?

アルツハイマー型認知症は、認知症の分類として最も多い疾患です。原因としては脳に特殊なタンパク質がたまり、神経細胞が萎縮することが特徴で、比較的ゆっくり進行するとされています。

特徴的な症状がもの忘れです。アルツハイマー型認知症では、たとえば、約束をしていたとすると、約束をしたこと自体を忘れてしまうのです。

また、料理の手順がわからない、片付け方がわからなくなるなどの判断力の低下や、自分のいる場所がわからなくなるなどの見当識障害がでてくると、見守りや声かけなど適切な支援が必要になってきます。

早期発見、早期治療など適切な対応により、症状の進行を緩やかにすることにつながります。何かおかしいと気づいたら、早めに相談受診しましょう。

9月21日の  
世界アルツハイマーデーには、  
福知山城を  
オレンジライトアップ!

